



気持ちを一つに！激闘高校野球！



第106回全国高等学校野球選手権群馬大会

○第1回戦 7月7日(日)第1試合 上毛新聞敷島球場にて 対 高崎東高等学校

両校ともに塁に出るものの、あと一打が出ず 8 回まで0対0で進み、緊迫した試合となりました。9回表に高崎東高校が 3 塁まで進みピンチとなりましたがしっかり抑え、9 回裏、萩原さんのヒットで 1 塁ランナーの荒巻さんがホームを踏み、1 対0で劇的なサヨナラ勝利となりました。

○第2回戦 7月13日(土)第1試合 小倉クラッチ・スタジアムにて 対 高崎商業高校

初回到先制され、苦しい展開でしたが、同点に追いつき、最後まで粘り強く戦いました！素晴らしい試合を見せてくれた野球部の皆さん、そして応援して下さったたくさんの方々、本当にありがとうございました！

青翠サヨナラ



投打に活躍しチームのサヨナラ勝利に貢献した渋川青翠の主戦萩原君。

▽1回戦(上毛新聞敷島) 高崎東00000000000000 渋川青翠00000000000000

①：萩原君が3死一塁とすと、萩原君が四球で出塁し、打て勝負を決めた。投を出した。

萩原が投打に大車輪

「渋川から申す。その夢のために勝つ。その夢のために勝つ。目をバントの構えで見ながら、打て勝負を決めた。投を出した。」

九回表を危なげなく無失点で抑え、流れを呼び出し、サヨナラ勝利を挙げた。打つた後のこと、あんなに興奮したことがない。自分の力で勝つことができた。自分の力で勝つことができた。自分の力で勝つことができた。

真 新井 啓




「気持ち一つに全力で戦った」 執念見せた青翠 清水哲也監督は正面から受け止めた。 初回の先制点で苦し

が、2回戦で姿を消した。「打線の調子を上向かせることができなかった。私の責任」と

い展開となったが、青 8 回目を完投。走者を追加点を許さなかった。先発萩原君は「背負っても、変化球を打線も五回に同点に

ピンチの場面でマウンドに集まり、声をかけ合う。 渋川青翠の先発萩原君ら、小倉クラッチ

打つて完封した。 高崎東は天田、深町の擁護で8回まで無失点だったが、打線が援護を呼ぶ。

追いつき粘りを貫いた。最終の好機を生かせなかった。 春進の原動力となり、今夏も力の限り腕を振ったエース萩原は「みんなが気持ちを一つに全力で戦えた。最高のチームだった」と顔を上げた。

(文) 小林日回子、写真 越谷奈都美

体験学習会 8月6日(火)

8月6日(火)に、本校に体験学習会を実施予定です。たくさんの申し込み、ありがとうございました！参加予定の皆様、職員一同お会いできるのを楽しみにしております。

部活動体験会 8月22日(木)

現在、8月22日(木)の部活動体験会の参加者を募集しております(8月7日メ)!本校ホームページの申し込みフォームより申し込み可能ですので、ぜひご参加お待ちしております! →

